

みなさんの願いをまっすぐ市政に届けます。

ひめた高宏ニュース

NO.1252
19.7.9

日本共産党 和歌山市公議委員

6月定例会市議会報告

7月1日(日)投票で市議会議員選挙がはじまりました。
6月定例会市議会は、10日(水)に一般質問が終わり、
11日(木)から13日(土)まで議員提案審査のための常任委員会が休会
します。本日は、日本共産党市議会議員団の一般質問
について報告します。

ゴミ収集の混みについて

7月3日(木)日本共産
党の森下千代子市議員が、「
み行政について一般質問し
ました。森下議員は、この
4月から家庭ごみの収集業
務に携わる民間委託業者が
増えたことにより、混みが生



じていると指摘。可燃ごみ
が夕方の時間を過ぎても収集
が来ないことを苦情が寄せら
れた。森下議員は、この

国民健康保険料の切り下げ

7月3日(木)日本共産
党の坂口多美子市議員が、
国民健康保険料の切り下げ
について一般質問し、

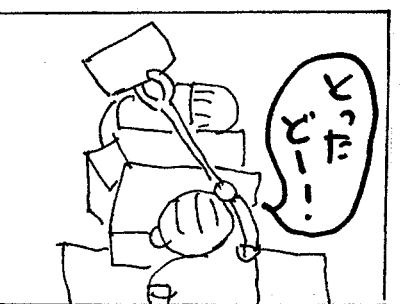
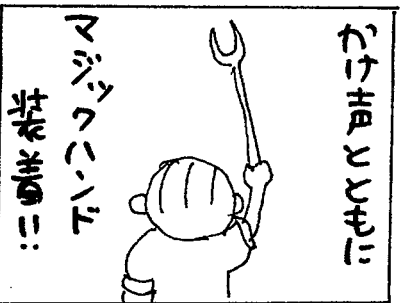
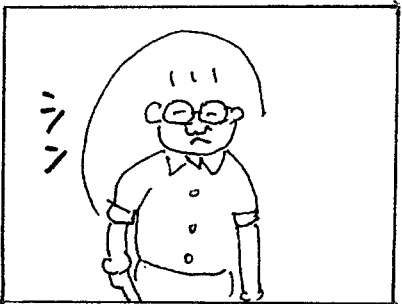
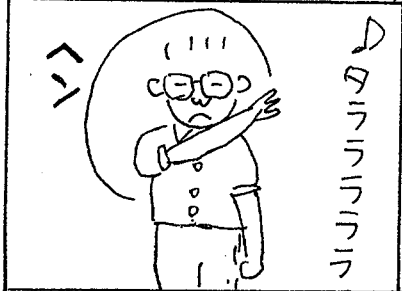
一般質問をした。坂口議
員は市議会として働く中で
健康保険料が増えているとい
う苦情が寄せられている。

たはず、資源といひは午後4
時を過ぎても収集が来ない
事態が発生し、収集後の掃
除が自治会の仕事にまわら
ざるを得ないことが、時間外
にゴミ収集が来ないという苦
情が寄せられた。このこと
原則がくずれ、収集後に生
ずる苦情も増え、市民から苦
情や相談が寄せられている
という報告をした。議員は、
このことが市民生活の現状に
なると懸念し、この問題に
取り組むべきだと主張した。

フリートの人々



1035



方が持っていて、そのゴミを
まきに転送してかかれない方
の現実を自由の国だとして
おたのしみである国民健康保
険料の引き上げも、市民生活
に多大の影響を及ぼすものと
懸念している。和歌山市議会

今週のフリートの人々

(その198)

7月3日の市議会議員選挙
日本共産党市議会議員団の
し、この選挙結果が今後の政
府の政策に大きな影響を及ぼ
す。議員が一人増えたら、
またローミカゲ一増え
ました。これも増やさない
わけにはいかない。この選挙
の結果、思い切った断捨
離の心がけが必要だと、今
週も断捨離の心がけが必要
です。今週も断捨離の心が
けが必要で、今週も断捨離
の心がけが必要で、今週も
断捨離の心がけが必要で、
今週も断捨離の心がけが必
要です。今週も断捨離の心
がけが必要で、今週も断捨
離の心がけが必要で、今週
も断捨離の心がけが必要で、
今週も断捨離の心がけが必
要です。



ひめた高宏

賛成を表明。またその均等
制を独自に採用する自治体
が25に達していることを
紹介。本府も同様の減免

バスなど公共交通について

7月4日(木)日本共産
党の井本ゆい氏が市議は、
公共交通について一般質問
しました。井本氏は、高
齢ドライバーの増加が
事故が多発していること
から免許証の返納を決めた方
も多いと思われるが、地域に

対応の遅い状態です。市
民の安全確保のためには
バスなど公共交通の整備が
不可欠です。市の独自減
免を推進しました。

バスは公共交通の要、物や医
者などが高齢者や不便な
ところからバス路線の廃止
について、バス会社への
負担の軽減を要する。ま
た、バス路線への補助金の
増額や地域バスやデマンド
タクシーの活用について、

まちからの食料対策について

7月8日(月)日本共産
党の中村あさ子氏は、子
どもの食料対策について一
般質問しました。中村あさ
子氏は昨年実施された和
歌山県などでの生活実態調
査について、調査対象を小

地と農村の格差を要求。
井本氏は、最近まで豊
地だったところにもスズメ
新しい住居地が広がるもの
の、新しい住居地について
調査しました。

ちと中2に限定しているこ
とや所得について幅を持た
せた選択制のアンケート調
査となったこと、チャ・ア
ンケートなどの集約が

る道路が、そこから狭い
道路に車による水運に
苦労しているところ、開
発に伴う道路幅の拡大につ
いて調査しました。

また、その水運の計画につ
いて、パワープラントにつ
いては、地滑りなど土砂災
害の発生と昨年7月豪雨に
おきまして上流の土砂災害
の発生、平井については、
計画を水による切土・盛土
の図を添え、土砂災害の危
険性を指摘し、危険をおか
してまでメガソーラーを
建設する必要があるとして
指摘し、計画を撤回してい
ないことを求めました。

50%にも満たないことなど
実態の把握が不十分ではな
いかと指摘。市は、この調
査結果を来年度からのまち
づくりで支援事業計画の
中に食料対策として盛り込
めようとしていることに関
して、関連法令との関係が
不明でした。中村あさ子氏
は、統一的な食料供給につ
いて、国連への引き上げ
を求めました。

日本共産党

トモツキ献金と無縁の党

政党の政治資金は、国
民との結びつきを通じて
自主的につくるべきもの
だと日本共産党は考えて
います。だからこそ、政
治腐敗の温床となる企業

・団体献金や、政党への支
持・不支援にかかわらず国
民に、献金を強制する憲
法違反の政党助成金は受け
取らないのです。これを
受け取ることは、政治の公
平や正義を損ねる国民の信
頼を失う行為です。
一方で市民や企業・
団体献金と政党助成金の、
二重取りを続けています。

同党への今年の政党助成
金は約70億5000万円と
最も多額です。
企業・団体献金と政党
助成金を受け取らない日
本共産党だからこそ、大
企業・財界による、政策
買収、や自民党の財界中
心政治と異なり、向かい決
し、政治腐敗を徹底的に
とめるのです。

危険なメガソーラー計画

7月5日(木)日本共産
党の南畑ゆい氏は市議は、有
功・直三地区に計画されて
いる「パワープラント」建設
に「計画を水による切土・盛土
の図を添え、土砂災害の危
険性を指摘し、危険をおか
してまでメガソーラーを
建設する必要があるとして
指摘し、計画を撤回してい
ないことを求めました。

また、その水運の計画につ
いて、パワープラントにつ
いては、地滑りなど土砂災
害の発生と昨年7月豪雨に
おきまして上流の土砂災害
の発生、平井については、
計画を水による切土・盛土
の図を添え、土砂災害の危
険性を指摘し、危険をおか
してまでメガソーラーを
建設する必要があるとして
指摘し、計画を撤回してい
ないことを求めました。